

山行報告書

日時	2026年1月17~18日(土・日)		天候	晴		
山名	九重山系 星生山 標高1762m					
CL	HIRO	参加者	(会員11名)			
(コース)	<p>1日目 7:00白木原駅前=大宰府IC=九重IC=牧ノ戸登山口9:30…11:50星生山 標高1762m~12:20(昼食)…久住別れ(携帯トイレブース)…牧ノ戸登山口…登山口15:00===(温泉)==(貢出し)==18:00小国古民家(共同食)</p> <p>2日目 小国古民家==道の駅日田==12:00白木原駅解散</p>					
(登山情報)	<ul style="list-style-type: none"> ○積雪を期待して計画していたが、異常な高温のために雪が融けてほとんど無かった。ただし、登山口からのコンクリート歩道は凍結していてアイゼン等が必要。 ○チェーンアイゼンの一部破損が1名。12本アイゼンの前後をつなぐネジの脱落1名(他の会員が持参していた結束バンドが役に立った。) ○星生山の山頂前後の岩稜帯の通過はアルプス登山の良い練習になる。 ○花山酔の温泉(サウナ休止中)は500円とお得。 					
(コメント)	<p>【戸T】雪山トレで九重山系の天狗ヶ城を目指す予定でしたが、1月とは思えない気温で登山道はベチャベチャドロドロで皆んな慎重に歩く為か予定より遅れ星生山までのコースになりました。総勢12名になったので、2班に分かれてワイワイガヤガヤゆっくりとした楽しい山行になりました。</p> <p>今回は山行よりもリーダーのレシピのもと古民家での楽しい夕べ食事を楽しみにしていたので深夜まで大いにはしゃぎ歌って楽しい時間を過ごしました。</p> <p>いつも温かく迎えて頂き有難うございます。また4月の山菜ハイクでも宜しくお願ひ致します。</p> <p>【遊】初めまして星生山ほっしょうさん「読み方難しい、、、」春山、陽気、青空のなか素晴らしい景観に癒されましたが泥んこ祭り。また違う季節にチャレンジしたいです。</p> <p>温泉後、素敵な小国の古民家。みんなで作ったご飯もお酒も素敵な器で益々美味しく楽しくて。素敵な焼き物が沢山！後片付けが楽しいと思う器なんです。老後の夢が広がる古民家で貴重な経験をありがとうございます。</p> <p>企画、前準備、運転、古民家の皆様、メンバーの皆様、心から感謝いたします。ありがとうございました。</p> <p>【K本】小国のH氏古民家へ初めてお邪魔し、家主をはじめ阿吽さん、hiroさんに暖かく迎えていただきました。</p> <p>ほの暗いオレンジ色の照明、今は見なくなったすりガラスの可愛い模様、炎が揺らめく薪ストーブと、ノスタルジックな空間に身を置き、皆でワイワイと作った料理で食卓を囲み、飾ってある写真の思い出に耳を傾け、豊富な経験談と若かりし頃の山行映像を眺めていると、タイムスリップしたような気分でした。</p> <p>九重はお天気も良く、山々が連なる広大な景色を眺めながら歩き、夜は古民家でゆったりと和やかな時間を過ごすことができ、贅沢な山行でした。</p> <p>企画をありがとうございます。また、楽しい時間をご一緒いただいた皆さん、お世話になりました！</p> <p>【HIRO】予定では天狗ヶ城までの往復でしたが、積雪がない中でのアイゼン歩行は不安定で、予定よりも時間がかかってしまったため久住別れで切り上げることになりました。しかしながら天気には恵まれ、由布岳、阿蘇五岳、雲仙と遠くまで見渡すことができました。個人的には以前使用していたアイゼンを久しぶりに使っていたら、途中でネジが脱落して外れてしまいました。きちんと対策しておくべきだったと反省しています。</p> <p>宿泊は会の大先輩の古民家へ。いつものように先輩方の歓迎を受け、宴会にカラオケと楽しい一夜を過ごさせていただきました。薪ストーブや石油ストーブを何台も焚いていただいたため、夜も暖かく過ごすことが出来ました。参加者一同、深く感謝しています。また、よろしくお願ひいたします。</p>					



費用概算

(その他/人) 約6000円